

茨城県生協連ニュース 臨時号 No.23

東日本大震災復興情報 がんばろう！茨城

2011年5月17日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館5F 電話 029(226)8487

地震被災発生から、茨城県生協連の各会員生協は、営業の再開と組合員支援、地域支援などに取り組んでいます。その取り組みの一部を紹介します。震災からの復興のために、力を合わせてがんばりましょう。

< いばらきコープが茨城県に義援金 1,000 万円を贈りました。 >

いばらきコープの佐藤洋一理事長、鶴長義二専務理事、榎村道子理事が茨城県庁（茨城県水戸市）を訪れ、「東北地方太平洋沖地震義援募金」の 1,000 万円(目録)を橋本昌茨城県知事にお渡ししました。橋本知事とは、農水産物への風評被害や震災復興の現状について懇談しました。

いばらきコープでは、東日本大震災発生直後から、被災地および被災された方への支援の目的で、組合員の皆さんにひろく義援金へのご協力をお願いしており、多くの募金、励ましをいただいています。これに対して、橋本昌知事からは「組合員の皆さんからの募金を大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉をいただきました。佐藤理事長は「引き続き生協をあげて支援に取り組みたい」と話しました。



< 左から、榎村理事、佐藤理事長、橋本知事、鶴長専務 >

< 茨城県生協連に、日立市長、ひたちなか市長より、お礼状が届きました。 >

東日本大震災での被災地支援として茨城県生協連は、会員生協とともに、支援物資の提供等に取り組んできました。今回、日立市の榎村千秋市長様、ひたちなか市の本間源基市長様より、お礼状が届きましたので、ご紹介いたします。

東日本大震災ご支援へのお礼

謹 啓

新緑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
このたびの東日本大震災に際しましては、心温まるご支援を賜り誠にありがとうございます。

今回の地震による本市の被害におきましては、震度6弱、津波4.1mを記録し、二人の尊い命が失われ、負傷者26名、家屋の全半壊等1,450棟、床上床下浸水376棟をはじめ、道路、鉄道、港湾、企業・公共施設など市内各所に大きな被害をもたらしました。

ひたちなか市では、3月11日の地震直後より避難所の開設、道路の応急処置による生活手段の確保および水道などのライフラインの復旧に全力で取り組み、電気が3月14日に、水道は3月25日に市内全域で復旧しました。現在、市内の公共施設やインフラの整備と産業の再生に全力を注いでいるところであります。

地震発生から1か月を過ぎてなお余震が続き予断を許さない状況であり、さらに、福島第一原子力発電所の事故は、市民生活や風況被害による経済・産業への影響なども心配され、情報の収集と対応に努めているところであります。

今、一日も早い復興に向け全力で取り組んでいるところでありますが、皆様のご支援を心に刻み、災害に強いまちづくりに一層努めている所存です。

今後とも皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら書中をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

謹 白

平成23年4月

茨城県ひたちなか市長 本間源基

御支援いただいた皆様へ

謹 啓

陽春の候、皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
このたびの東日本大震災に際しましては、心温まる御支援を賜り、誠にありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた御支援は、被災された方々の大きな支えとなり、生きる勇気を与えてくださいました。

本市においては、幸いにも震災により亡くなられた方はおりませんでした。一時は全てのライフラインが寸断され、また、多くの家屋が損壊、床上浸水し、学校や道路等の公共施設にも甚大な被害が生じました。

現在日立市では、一日も早く市民生活が安定し、生活再建が推進されるよう、市民、議会、関係団体等と共に力を合わせ、復興に向け全力で取り組んでいるところであります。

このたびお寄せいただいた御厚情に略儀ながら書中をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

謹 白

平成23年4月

日立市長 榎村千秋

東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

< 韓国の京畿ドゥレ生協から義援金をいただきました。 >

(パルシステム茨城)

パルシステム茨城では、国際交流の一環として、韓国の京畿ドゥレ生協と交流を深めて参りました。このたびの震災に対し、いち早くお見舞いのお手紙をいただき、その後ドゥレ生協の組合員さんが募金活動をして、5月2日にメッセージとともに、義援金 82,099 円をお送りいただきました。

パルシステム茨城 理事長 小谷 悠子 様

理事長を含めて、職員及び組合員の皆様、お元気でしょうか。
日本で起きた大惨事を知り、私たちの生協で何週間、「日本を助ける募金活動」を行いました。思った通りに多くの募金が寄せられなくて大変恐縮ですが、私たちの真心のこもったものです。どうか被災者の皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。
皆様、お元気で、頑張ってください。この状況を乗り越えられますように、心よりお祈り申し上げます。

2011 年 5 月

京畿ドゥレ生協 理事長 イ・クムジャ

日生協ボランティア活動ニュース【No. 5】からの抜粋転載

宮城県内のボランティア活動について

みやぎ生協での調整が始まります

みやぎ生協では、宮城県災害ボランティアセンターに職員2名を派遣し、事務支援を行ってきています。この間の経験から、今後、宮城県内でのボランティア活動についてはみやぎ生協が宮城県内の災害ボランティアセンターと調整を始められることとなりました。県外の生協で宮城県内でのボランティア活動を希望される場合は、下記お問い合わせ窓口にご相談・ご連絡ください。【本件のお問い合わせ先】 みやぎ生協ボランティアセンター(生活文化部内)

担当:須藤さん、山田さん TEL 022-218-5331 FAX 022-218-5945



茨城県生活協同組合連合会のホームページのご案内

茨城県生活協同組合連合会と加盟する会員生協の活動や取り組みのご紹介など、生協の情報提供の場となるように努めていきます。ぜひ、ご覧ください。

< 茨城県生協連ホームページのアドレス >

<http://www.ibaraki-kenren.coop>

東日本大震災支援

「つながろうCO・OPアクション」

日本生協連は、東日本大震災復興支援として、今後の社会・経済基盤の復旧とくらしの復興にむけて、全国の生協・組合員とともに「つながろうCO・OPアクション」に取り組みます。



東日本大震災復興支援
つながろう
CO・OP アクション